



未来の先生展
2017

未来の学び夢マラソン

～学びの未来を描こう、語ろう～

ライトニングトーク形式

開催日時	2017年 8月 27日(日) 14:20-15:50
場 所	武蔵野大学有明キャンパス 1号館2F 208教室
講 演 者	米島博司 松本一見 足立さとみ

ここが注目！

過去のSF物語が数十年後には現実になっている現在を見ると、理想を、未来をありありと描くことがゴール近く最短の道ではないでしょうか？発表者が次々に登壇して夢を提示します。

内容

学びのかたち

学年や学級、時間割、科目・教科といった現在の学習システムのフレームを一旦すべて取り払って、生徒が学生が効率的かつ効果的に、一人一人が最適な方法、環境、時間で学習できて、全員が所定の知識、技能、態度を習得するにはどうしたら良いか、またそれが実現した暁には学校や生徒や先生はどんなもの、姿になっているのかを夢に描きます。

生徒が主役

アクティブ・ラーニングを始め、反転授業やその他新たな授業改革の試みは、学ば側、生徒が主役となって自律的に学習を進めることが基調となっています。そんな学習スタイルで生徒に求められるものは何でしょうか？

先生の役割

授業時間のほとんどを教師が教壇に立って説明するスタイルはもはや通じない状況になってきています。

これからの未来、先生の役割とは何でしょうか？



Chie Guentherさんの好意により虹色の未来の学びを描いてもらいました。